

平成21年度 科学研究費補助金（学術創成研究費）
事後評価結果

研究課題名	寿命と発生を制御するシグナル伝達ネットワーク	研究代表者名 (所属・職)	西田 栄介(京都大学・大学院生命科学研究所・教授)
-------	------------------------	------------------	---------------------------

研究課題の総合的な評価

該当欄		評価基準
○	A+	期待以上の研究の進展があった
	A	期待どおり研究が進展した
	B	期待したほどではなかったが、一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い

評価意見

本研究課題は、当初の2つの目標である、「線虫をモデルとした食餌制限とシグナル伝達」、「発生初期のシグナル制御」について、いずれも優れた成果をあげている。特に、断続的食餌制限によって、これまでの食餌制限と寿命の関連以上の新たなシグナル伝達の展開を示したことは非常に優れた成果である。

発生に関しても **Sprouty** による **ERK** 経路の初期胚の背腹の決定への関与などアフリカツメガエルを用いて示した結果は高く評価できる。

質の高い論文を多く出しており、国際的にも高く評価されている。